

祝) 第23回全国聴覚障害公務員研修討論集会 in 尼崎

この集会在開催されることを心よりお慶び申し上げます。

この会場で開催されるにあたり、尼崎で聴覚障害者団体の運動により全国で初めて設立された「たつのこ作業所」について皆様に知っていただきたく、沿革を紹介させていただきます。

昭和61年10月「障害者の生活と権利を守ろう」「ひとりぼっちのろうあ者をなくそう！」を合い言葉に尼崎ろうあ協会が結成されました。平成2年に事務所が設けられ幅広い活動の拠点となりました。平成6年1月 尼崎ろうあ協会事務所に、聴覚障害者の就労に関する相談が多くよせられたことをきっかけに、作業所設立への取り組みがはじまりました。平成7年1月17日 阪神淡路大震災が起こり、たつのこ作業所に「災害対策本部阪神支部」が設置され、ろうあ協会会員をはじめ、たくさんの通訳、ボランティアの方たちと共に被災地をまわり、救援活動を行いました。平成11年12月震災時の活動がきっかけで、たつのこ作業所の認知が広まり、通所希望者が増えたため、第2 たつのこ作業所が設立されました。

平成16年3月 通所者の増加と、将来的に聴覚障害者の総合的な支援施設を作っていきたいという展望により、尼崎聴覚障害者センターを設立することになりました。

平成20年3月障害者自立支援法が施行される中、作業所の運営をより安定するため、また社会的にも信頼される団体になるために、尼崎ろうあ協会はNPO法人を取得しました。

平成20年4月、3カ所の小規模作業所が、障害者自立支援法にもとづく事業所へ移行し新たなスタートをきることになりました。就労継続支援B型事業所『たつのごろうあハウス』は紙袋や内職などの作業を通じて、就労の機会を提供するとともに、一般企業就労に向けての支援や知識や能力向上のための訓練を行います。「できないことをできるようにする」をモットーに、ひとりひとりの障害やコミュニケーション方法にあわせた支援を行います。ろう重複障害者を中心にコミュニケーションをより大切に、様々な経験を通じて、行動を言葉に変えていく支援に取り組んでいます。2012年4月から、尼崎聴覚障害者センター（地域活動支援センター事業）の事業廃止と同時に、『たつのごろうあハウス2』を新たにスタートしました。

たつのごろうあハウス2は聴覚障害者を中心として働く意欲を持てるよう目標工賃達成に向けて、施設内の内職作業や施設外作業・自主製品など工賃アップを含め、社会での経験を増やす取り組みをしています。

『たつのこ工房』は地域活動支援センターとして2008年4月よりスタートしました。

そして、2009年5月よりうどん店をオープンする事ができました。

工房では、「うどん」と「そば茶」の製造販売を行っています。お試し下さい。

たつのこ作業所一同より